

代表的な岐阜県の水稲栽培こよみ(品種:あきたこまち(中山間地域))

『あきたこまち』の品種特性

(1)品質が安定している早生品種である。

『土づくりのポイント』

(1)秋耕起と排水の励行。

(2) 稲わら全量還元又は堆肥等有機質の適度な投入。

(3)ニュー味力アップ[®](80kg)施肥。

(4)深耕(目標18cm)

月別	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11～3月
旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	土づくり期間
生育過程		播種	育苗期	移植期		有効分げつ期	穂数確保期			幼穂形成期	穂ばらみ期	出穂	登熟期			収穫期						
作業名	①種子消毒	播種 ②耕起 ③基肥施用 ④代かき		⑥雑草防除 田植え・⑤箱施葉散布		⑦早期中干し		⑦中干し（かかとが3cm沈む程度）		⑨病害虫防除（1） ⑩穂肥散布（1） ⑪穂肥散布（2） ⑫病害虫防除（2）	出穂	⑬病害虫防除（3）				⑭落水 ⑮収穫					⑯秋冬耕起の実施 ⑰土づくり資材の施用	
水管理				除草剤		早期中干し	⑧間断灌水		中干し	浅水					落水							

作業名	内容(目的)	使用資材名	10a当たり施用量
①種子消毒	種子伝染性病害、イネシガレセンチュウ防除のための 粃温湯消毒	—	
②耕起	代かきに向けての碎土	—	
③基肥散布	(普通肥料)初中期生育に必要な肥料散布	化成肥料14-14-14	30kg
	(一発肥料)生育～登熟に必要な肥料散布	エムコート583	30～35kg
④代かき	漏水防止と田植えのための碎土・均平	—	
⑤箱施薬散布	いもち病や害虫防除のために、箱施薬剤散布	Dr.オリゼ [®] バティート粒剤 又はフーンレパード [®] 箱粒剤	50g/箱
⑥雑草防除	稲の生育を阻害する雑草防除 (初中期一発処理剤)	ティオーレ1キロ粒剤 又はバッチリXフロアブル 又はベッカクジャンボ [®]	1kg 又は500ml 又は250g
	体系処理(代かき後の初期剤+初中期一発)	サキトリEW+ ティオーレ1キロ粒剤	500ml+1kg
⑦早期中干し・中干し	肥料の効かせ方の調節と根への空気(酸素)補給	—	

作業名	内容(目的)	使用資材名	10a当たり施用量
⑧間断灌水	根の生育に必要な空気(酸素)と水を補給	—	
⑨病虫害防除(1)	いもち病防除	コラトップ粒剤5	3～4kg
⑩穂肥散布(1)	籾の登熟充実のため追肥(一発肥料使用時は不要)	化成肥料16-0-16	20kg
⑪穂肥散布(2)	籾の登熟充実のため追肥(一発肥料使用時は不要)	化成肥料16-0-16	10kg
⑫病虫害防除(2)	紋枯病防除	リンバー粒剤	3～4kg
⑬病虫害防除(3)	ツマグロヨコバイ、ウンカ類、カメムシ類等の防除	スタークル粒剤	3kg
⑭落水	籾の登熟を促し、収穫の作業性を良くするため収穫1週間前に落水	—	
⑮収穫	品質低下を防ぐため、適期収穫の実施	—	
⑯土づくり資材	稲の生育のための土づくり	ニュー味力アップ [®]	80kg
⑰秋冬耕起	有機物、土づくり資材のすき込み、作土深確保のための田起し	—	